



2024年度

地域ラボ

まちのスクールで
お世話になった
方々を
少しずつ
紹介していきます



まちのスクール

旅館再生

130年前の旅館を自らで改装！？
サウナ/カフェ/ゲストハウスまで



KENTOさん

En undertemple/茶屋如意-JOY-
En sauna/En house

世界各国で旅をした後、河内長野にある観心寺の付近の、130年前の旅館“旧松中亭”を自ら改装。今ではカフェ、テントサウナ、ゲストハウス等々様々な活動を実施中！

看板作り体験→川遊び

地域の様々な人と一緒に協力して実施する看板づくり体験に参加。世代や立場を超えてみんなで楽しそうに作業をしている様子は理想の光景でした。作業後、子どもたちは近くの川に入り1日を過ごしました。子どもたちと地域の人が自然に交流し、笑顔が生まれる穏やかな時間を過ごすことが出来ました。





建築士

かわちラボの生みの親
まちの図工室やカフェも



高比良さん

LIVINGかわちながの
ただいまカフェ/まちの図工室

河内長野で長年建築業を営み、かわちラボの工事も施工。同敷地内にあるシェアキッチン“ただいまカフェ”や、レーザーカッターや3Dプリンター等がある”まちの図工室”を運営。加えて市の商店連合会の会長。河内長野を盛り上げる中心にはいつも高比良さんが！

かわちラボ建築クイズ！

奈良県の大学院生が主導で始まった「誰でも先生」。かわちラボの生みの親でもある高比良さんの学生時代についてや、どんな想いで仕事をしているかなど沢山聞かせていただきました。その後、かわちラボクイズも実施しました。工事前と後の違いに終始驚き、大変盛り上がり、みんな必死にクイズに答えていました。



Before



After

ワークショップ デザイナー

某大手電機メーカー
所属の想いを形にする
場づくりの専門家



つぼちさん
ワークショップデザイナー

坪倉さん。WaQuna 代表 兼メーカー社員で、ワークショップデザイナー、レゴ®シリアスプレイ®認定ファシリテーター。かわちラボでも、支援者Barや教育Bar、その他の様々な活動に参加しながら、想いを形にする場づくりを展開！！

フラフープをみんなで持ち上げる
なんて簡単...むずかし！

電機メーカーに勤めながら、ワークショップデザイナーとして自社内を超えて、様々な場所で活動するつぼちさんの仕事について聞いた後、みんなでフラフープを人差し指で支えて、移動させるというワークショップを実施。子供達も余裕だ〜と話していましたが...これが意外と難しい。終始大盛り上がりで、子どもたち同士が自然と関わりあっていました。





爪楊枝工場

河内長野の伝統産業
を身近に触れ...



末延 秋恵さん
菊水産業 4代目代表取締役

楊枝づくりが地場産業として栄えた河内長野市で、1960年創業した菊水産業。「地場産業を残すことは地域を残すこと」との思いで祖父から受け継いだ爪楊枝工場を守る4代目の末延さん。火災なども乗り越え奮闘する姿は数々のテレビ番組やニュースで取り上げられています。

爪楊枝づくりを実際に体験

子どもたちと一緒に爪楊枝づくりについて聞いた後、実際に普段使っておられる機械を見学。その後、和菓子などを食べる際に使われる黒文字楊枝を手造りで作る体験をさせていただきました！家族全員分造っている子もいました。普段できない貴重な体験で、子どもたちの世界が広がりました。





木根館

木(河内材)を使った
ものづくり体験



田中 慎さん

木根館-河内長野市立林業総合センター 館長

河内長野市は約70%が森林で、古くから『河内林業地』として親しまれてきました。その自然の恵みを活かし、林業再生と木のある暮らしを提案する拠点施設が「木根館」。DIY体験や学習イベントで森林の魅力と癒しを伝えています。

木だけに“もくもく”とものづくり

子どもたちは、各自作ってみたい木工キットをじっくり選んだ後、いよいよ製作を開始。とても優しい田中さんに教えてもらいながら、さまざまな工具が並ぶ特別な空間で、金槌や見たこともない工具も使い、普段は見られないような集中力を発揮し、黙々と楽しそうにもものづくりに励んでいました。初めて木を使った制作に挑戦した子もいて、自分なりに試行錯誤する姿が印象的でした！





保育士体験

将来の夢は、
保育士さん



あまのこどもえん
河内長野市

大阪府河内長野市天野町の自然豊かな環境にあるあまのこどもえん。身体の育ちとともに、「やさしい気持ち」「強い気持ち」がたくさん育つよう、心の育ちを大切に、『やさしさ保育』『ていねい保育』を保育方針とし、ご家庭と協力しながら子ども達ひとりひとりの健やかな成長を見守ります。

保育士になりたい！！！！

「僕の将来の夢は保育士なんだ！」そんな子どもの一声とあまのこどもえん様のご協力により実現した保育士体験。0歳児から年長児までの各クラスを見学させていただきました。年長さんのクラスでは、シャボン玉づくりやフルーツバスケットを園児と楽しみ、一緒に給食を食べました。給食後はお昼寝タイム。園児たちの背中をトントンして寝かしつけ、気持ちはすっかり保育士さんです。体験終了後、「またここに来たい！」と思いを表現する姿も見られ、夢に一步近づく貴重な体験となりました。





音楽家 不登校経験を持つ経営者兼音楽家



尾花由佳理さん
クレアミュージック 代表



池垣佐世子さん
株式会社ルシェア 代表

尾花さん：幼少よりピアノ、中高生時代から合唱や声楽を学び、大学進学後アカペラグループで演奏活動やオリジナル楽曲の制作をスタート。現在は歌手、ボーカルスクール講師兼経営者、楽曲制作などを手掛けている。

池垣さん：音大出身。社会課題解決に向けての伴奏支援や地域活性プログラム、音楽イベント企画開催などを行っている。今回はピアノ伴奏者として、尾花さんと息ピッタリの演奏を披露してくださいました。

不登校時代から経営者へ

中学生時代に不登校を経験した尾花さん。幼少期のお話から、不登校の時の葛藤、そこからどのように変化し、現在のボーカルスクールを経営するまでに至ったのかをお話しいただきました。子どもたちの表情は真剣で、きっと今の自分と照らし合わせていたのかもしれない。お話の後は池垣さんのピアノ伴奏で尾花さんに歌っていただきました。最後は、皆で楽器を選び“パプリカ”をセッション！終始楽しい雰囲気の中、濃密な時間となりました！





里山活動

ここは、里山わびすけという
“自然こそが「先生」である学び場”



穂積 亜由さん

里山わびすけ 副代表

法律事務所でパラリーガルとして勤務した後、現在は（公財）泉北まちと暮らしを考える財団にてファンドレイジングを担当。仕事の傍ら実家の里山を「里山わびすけ」として家族や協力者と共に運営。生物多様性や「食の循環」、多世代の居場所をテーマに活動を展開している3児の母。



里山わびすけ

自然の中でしか味わえない時間

教える必要は何もない。自然が全て教えてくれる。そんな空間である里山わびすけの探索から始まり、最後は焚火で焼いたマシュマロを味わって締めくくりました。様々な生き物と出会い、開放感や空気を感じ、植物に触れる。そして、温かい人と関わる中で、普段の子どもたちとは違う表情を見せてくれました。この場所でしか体感することのできない空間。自然ってやっぱり最高です。



注：乗られているのはスタッフです（笑）





キッチンカー & マルシェ

キッチンカーやマルシェをしたい！という人のお助けマン



小倉明義さん（おぐらさん）
キッチンカーマルシェ協会 代表

ベンチャー企業社員、自然ガイド、携帯ショップ店員、石窯ピザのキッチンカーなど多数の経歴の持ち主。現場で培った経験からキッチンカーの新たな価値想像・地域活性を目指して日々活動しています。今回は「誰でも先生」として子どもたちとキッチンカーでハンバーガー屋さん。

「みんなの居場所マルシェ」
でハンバーガーをお客さんに提供！

始まりは11月。「誰でも先生」として小倉さんに登壇してもらい子どもの頃やお仕事のことをお話しいただきました。そこから2月のマルシェに向け準備。12月には実際のキッチンカーでハンバーガー作り。その後試作を重ね、2月に本番を迎えました。当日は、みんなシェフ顔負けの真剣な表情で、一生懸命ハンバーガーを作りました。たくさんのお客さんに「美味しかった！」と言っていたことで喜びを感じ、少し自信をつけることができた1日でした。





キックボクサー 大学生ボランティアがキックボクシングを伝授



海上 航我さん（こうがくん）
教育学部 学生

小学校の先生を目指し、関西福祉科学大学教育学部で日々学んでいます。授業の一環でかわちラボを訪れたことがきっかけで、まちのスクールボランティアに。幼少期からキックボクシングを続けており、「子どもたちとも楽しみたい！」と今回の企画を実現してくれました！

ジャブ、クロス、フック、アッパー
本気のパンチとキックで勝負！！

しっかりとみんなで準備体操をした後、グローブを付け、ミットをめがけて、様々なバリエーションのパンチとキックの練習を何度もしました。その後はタイマン勝負。子どもたちはこうがくんに本気で挑んでいました。中には翌日に筋肉痛になる子も。普段使っていない筋肉や身体を思い切り動かし、ルールを守って本気で大人に挑めるいい機会になりました。

